

実務経験証明書

令和4年4月1日

技術管理者が実務の経験を得たときに使用されていた者の商号又は名称を記入してください。
 ※ 建設業許可（土・建・解体のいずれか）か解体工事業登録を持っている者の下での実務経験のみ実務経験としてカウントできます。

下記

とに相違ないことを証明します。

証明者 株式会社 宮崎建設
 代表取締役 宮崎 一郎

技術管理者の氏名	分別 良三	生年月日	昭和38年5月10日	使用された期間	昭和62年 4月 から
使用者の商号 または名称	株式会社 宮崎建設				平成27年 3月 まで
職名	実務経験の内容			実務経験年数	
工事主任	「〇〇邸解体工事」、木造建築物の解体、他〇〇件			平成18年 4月 から 平成19年 3月 まで	
工事主任	「〇〇工業所解体工事」、鉄骨構造物の解体・木造建築物の解体、他〇〇件			平成19年 4月 から 平成20年 3月 まで	
工事主任	「〇〇邸解体工事」、木造建築物の解体、他〇〇件			平成20年 4月 から 平成21年 3月 まで	
工事主任	「〇〇邸解体工事」、木造建築物の解体、他〇〇件			平成21年 4月 から 平成22年 3月 まで	
工事係長	「〇〇工業所解体工事」、鉄骨構造物の解体、他〇〇件			平成22年 4月 から 平成23年 3月 まで	
工事係長	「〇〇ホテル解体工事」、SRC構造物の解体、他〇〇件			平成23年 4月 から 平成24年 3月 まで	
工事係長	〇〇工場解体工事、他〇〇件			平成24年 4月 から 平成25年 3月 まで	
土木解体課長	「〇〇橋解体工事」、PC構造物の			平成25年 4月 から 平成26年 3月 まで	
土木解体課長	「〇〇小学校解体工事」、鉄骨構造			平成26年 4月 から 平成27年 3月 まで	
				年 月 から 年 月 まで	
使用者の証明を得ることができない場合	その理由				合計 満 9年 月
				証明者と被証明者との関係	元社員

※ 指定された学科を卒業し、必要となる実務経験期間が短縮されている方は、別途卒業証明書等を添付して下さい。

記載要領

- 1 この証明書は、被証明者1人について、証明者別に作成すること。
- 2 「実務経験の内容」の欄には、従事した主な工事名、解体した建築物等の構造等を具体的に記載すること。